

# ロマンは実を結ぶ

## 米子地本 米子支部 後藤総合車両所分会

No.288

後藤総合車両所分会は米子地本内の米子支部に所属し、組合員は2021年11月1日時点で198人所属しており、米子地本内では、組合員が1番多い分会です。

後藤総合車両所では、電車・気動車・ディーゼル機関車・客車・貨車の定期検査の他に、JR他社の定期検査及び



JR西日本管内の全ての機関・変速機の検修といった多種多様な業務を行っています。

毎月1回実施している執行委員会で、動員実施報告、今後の活動予定共済、情宣・安全衛生委員会

の担当の方にも執行委員会に出席いただき、ローン返済や資金計画の見直しといったプラン紹介をし、全組合員に展開をすることで、生活への不安からの離職や組合員のモチベーション低下を防ぐ取り組みを行っています。

6月1日付で11名、10月1日付で2名の計13名の組合員が部外に出向しています。



また、出向後は出向先での労働内容や職場環境等で困っている事がないか定期的な連絡をとっています。

今後もコロナ禍により、会社の変化・変容(車両系統

### 未来を見据え

### 労働運動を着実に進める

の内容等について情報共有をしています。

また、中

の業務体制の見直し等が進んでいますが、その全てが組合員にとって将来へのステップアップやチャンスと捉えて、後藤総合車両所分会で一致団結して頑張っていきます!!

出向される前に地本と分会で激励会を実施し、出向先での不安なこと等があれば、すぐに地本や分会に連絡するようフォロー体制を築いています。



セミナーでは、まず、労働組合の専従役員を経験される

その後、JR九州労組の女性活躍についての取り組み紹介があり、JR西労組中央本部の田中部長からJR西労組の現状や課題を紹介した後、グループディスカッションを行った。「労働組合の問題点は」「女性役員を増やすには」「活動内容をしっかりと説明し理解を持ってもらう」「女性役員の仲間を増やす活動に無関心、知らない人が多い」「参加する人

お知らせ

1月1日号より、文化・文芸コンクール川柳・標語部門の応募作品を、欄外に掲載致します。

## JR西労組 発足から30年!!

1991年12月6日に発足した西日本旅客鉄道労働組合〔JR西労組〕は、昨年の2021年12月に結成30周年を迎えました。

30年間、これまでJR西労組運動を作りあげていただいた諸先輩方や、運動を支えて下さった組合員、ご家族はじめ、全ての皆様から感謝いたします。

これからもJR西労組は組合員に寄り添った、責任ある運動を進めてまいります。

JRTU 西日本旅客鉄道労働組合〔JR西労組〕

執行部一同

### 今後の公共交通のあるべき姿について

### 実行可能な提言をしていく

中央本部は、12月4日(土)に第1回交通政策(政策・調査)委員会を開催し、中央本部ならびにJR連合から来賓と各地方本部の交通政策担当役員総勢28名が参加した。

委員会の前段、2024年から公有民営方式(上下分離方式)となる近江鉄道(彦根・近江八幡)を視察し、地域に必要とされる鉄道の現状について見聞を深めた。

委員会では、川端政策部長より、



三日月知事より「滋賀県における交通政策について」の講義を受ける



委員会の前段では、2024年より上下分離方式となる近江鉄道を視察した

コロナ禍における移動の制限によって影響を受けているJR連合、航空連合、サービス連合の3産別が連携し、政党や省庁に対して行っている要請行動やJR西労組が調査した各社・各支社の法定「滋賀県知事をお招きし、滋賀県における交通政策について」と題し、JR西日

どについて報告があった。議事では、今年度の方針として、引き続き、沿線自治体との懇談活動を継続実施することや、中計の見直しに示された地方ローカル線に係る諸問題について関係地本等と連携し、組合員の不安を解消する取り組みを進めていくことを確認した。

その後、JR西労組青年女性委員長出身の三日月大造滋賀県知事をお招きし、「滋賀県における交通政策について」と題し、JR西日

本と結んだ包括的連携協定の取組みや、近江鉄道の今後について、協議を重ね全線存続させるために上下分離としたこと、また、今後の進め方についての講義を受けた。最後に、三日月知事は、JR西労組での活動が、課題解決や現状を変えるという知事としての行動の原点となっていると述べられた。

JR西労組は、今後の公共交通の中長期的なありべき姿・方向性について、三日月知事の講義ならびに近江鉄道の視察を踏まえ、実行可能な政策提言を策定する取り組みを行っていくこととする。

### JR九州労組 女性役員セミナーに参加

### 女性に理解され 女性が活躍しやすい組合へ

12月5日(日)、JR九州労組主催の女性役員セミナーがJR九州労組本部会議室にて開催され、JR西労組からは中央本部2名、福岡地本5名の計7名が参加した。

セミナーでは、まず、労働組合の専従役員を経験される

その後、福岡市議となった近藤さとみ議員から「女性の声が政治を変える!」と題した話を受けた。

その後、JR九州労組の女性活躍についての取り組み紹介があり、JR西労組中央本部の田中部長からJR西労組の現状や課題を紹介した後、グループディスカッションを行った。「労働組合の問題点は」「女性役員を増やすには」「活動内容をしっかりと説明し理解を持ってもらう」「女性役員の仲間を増やす活動に無関心、知らない人が多い」「参加する人

最後に「JR九州労組、JR西労組それぞれの話を聞く事が出来、勉強になった」「今後の労働運動の参考にしたい」との声があり、多くの学びを得られるセミナーとなった。

今後も、JRグループで働く女性組合員との交流を行い、男女皆がいきいきと働ける環境づくりを進めていく。

特別講義があり、議会活動についての紹介とともに、労働組合で取り組んだ企画提案運動が市議の現在の活動に活かされているとの話を受けた。

西日本JRバス地方本部 執行委員 東谷亜希子

西バス地本執行委員の東谷です。私には息子が2人います。

長男が小学生になるタイミングで、当時小1の壁に直面し退職することを選択しました。

5年間は他社で派遣社員として勤務しましたが、西バス会社で復職制度とフレックス制度が制度よろしく願っています。

自身経験を活動に生かし、西バス地本の女性執行委員として女性にも働きやすい職場環境づくりに努めていきたいと思っています。

次は福岡地本の緒方さんに担当していただきます。よろしく願っています。



### ハマちゃん

